



Nature News

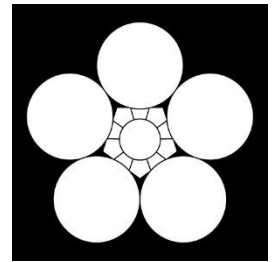
撮影：9月3日 網張の森 ゲレンデ



ウメバチソウ
(ニシキギ科)

ウメバチソウ（梅鉢草）の名は・・・
藤原氏によって失脚させられた菅原道真は、大宰府にて寂しい一生を終えました。彼の亡骸は大宰府の天満宮に葬られて、天満宮の祭神となりました。彼の好んだ梅の花は、天満宮の神紋になりました。天満宮の氏子や尊敬する人々や道真にゆかりのある人々は、梅の花の家紋を採用しました。そのうちの1つが“梅鉢紋”。梅の花の雄しべを省き花弁を円形にしたものです。ウメバチソウの雄しべを省いた形によく似ています。梅の花の象ったいくつかの家紋のうち、梅鉢紋が最もウメバチソウに似ています。

引用：『野草の名前』山と溪谷社



↑梅鉢紋



エゾオヤマリンド (リンドウ科)



アキノキリンソウ (キク科)



ヤマハギ (マメ科)



ナンブアザミの仲間 (キク科)



半円形に連なって生えているキノコを見つけました。これは菌輪（きんりん）という、キノコが円や弧を描いて発生する現象です。この現象、英語では「Fairy Ring」「Fairy Circle」など「妖精の輪」と表現されます。妖精たちが輪になって踊った跡だという民話に由来しているそうです。（諸説あります）

森の様子や花の咲いている場所、ハイキングコースについてお気軽にスタッフにお声がけ下さい。